

子育て支援拠点事業第Ⅰ回住民説明会議事録

日時	令和7年8月22日（金）19:00～20:00
場所	大津地区公民館分館
参加	9名

【説明会の内容】

- ① 整備の背景
 - ・ 公立園の課題と現状
 - ・ 整備方針
- ② 公立認定こども園の概要
 - ・ 施設の概要
 - ・ 公立認定こども園が目指すもの
 - ・ 認定こども園の建設場所
- ③ スケジュール

【ご質問】

Q 防犯面や交通安全に関して心配をしている。昭和園付近の通学路は歩道がない箇所もあり、東側駐車場の利用が増えることで、危険度が増すと思うが対策は。

A 通学時の安全性確保の必要性については認識している。防犯面については、関係部署とともに対策をする予定。通学時の安全性の確保については、道路を広げることは難しいため、既存の道路上で可能な安全対策を講じていく方向。

Q 昭和園のどの付近に園舎や子育て支援施設を建設予定なのか。

A 昭和園北側駐車場付近になる予定。建物の配置については、西側に認定こども園、東側に子育て支援施設の建設を検討している。

Q 平屋ではなく二階建てになるのか。

A 二階建ては平屋に比べて高さがあるため、近隣の方への影響も考慮しながら、平屋建ても含めて協議を行っている。

Q 災害時の避難施設としての利用予定はあるのか。

A 町の施設ではあるため、地域における災害時の避難拠点として位置づけができるか検討していく。

Q 建設予定地全体をフェンスで囲うのか、公園と一体とした整備になるのか。現在の芝生広場が建設予定地に含まれているが、現在サッカーの練習を個人でしている子どもがいる。フェンスで囲まれてしまうとそのような子供たちの練習をする場所が無くなってしまう。

A こども園部分は防犯面からフェンスで囲む予定。拠点施設は、昭和園との一体的な整備を考えているため、フェンスで囲まない予定。

Q 運動場はフェンスで囲むのか。

A こども園の建物及び運動場は、子どもの安全性確保のためフェンスで囲む予定。

Q 犬の散歩で昭和園を利用するが、整備後も今まで通り利用可能なのか。

A 今回の整備に伴い、利用を制限する予定はない。昭和園の再整備も段階的に行い、皆さんにとって過ごしやすい場所を目指して行く。

Q 今回の整備に伴い、昭和園の広さは変わるのか。

A 昭和園の面積は変わらない。

Q 東側駐車場と昭和園を結ぶ橋はどのような改修をするのか。

A 橋の点検を行い、使用する上で架け替えは不要と検査結果がでたが、手すりのさびや、橋面のひび割れは見受けられるため、補修を行う予定。

Q 東側と西側の駐車場は自由に使えるのか。

A 2か所とも利用ができるように考えている。送迎時にどちらの駐車場を利用するかなど、運用方法については今後検討予定。

Q 東側の駐車場からこども園までの距離が長い。荷物が多い日や、雨天時、冬場に東側の駐車場から子どもと登降園するのは保護者の負担が大きいと思う。

A 利用方法については検討予定だが、東側は主に職員駐車場としたり、防犯灯を設置したりするなどして可能な限り利用者の負担が少ないようにしていきたい。

Q 今後このような説明会はあるのか。いつ頃予定しているのか。

A 計画の進捗状況に合わせて同様の説明会を開催したいと考えている。時期については、検討させていただく。

【ご意見】

○不特定多数の方が利用するため、防犯面が不安。

○懸念しているのは音の問題。家にいる時間が長く、常に公園に隣接して生活する必要があるため、経過段階であれば子供たちが活動する際の音について、周囲への影響が少なくなるように配慮してもらいたい。

○支援センター側はフェンスで囲わないと話があったが、夜間に若者のたまり場になりかねないこ

とや、昭和園全体に高低差があり子どもが遊んでいるときに目が行き届かないため、フェンスである程度囲ってほしい。

○昭和園入口付近の道路は歩道が狭い。車のスピードも速く、既に事故が起きかねない。今後は保育園送迎時の道路にもなるため、安全対策をお願いしたい。

○認定こども園が昭和園内にできることは、子どもたちも自然を感じながらお散歩ができるので、とてもいい考えだと思う。現在保育園の近くに住んでいるが、子どもたちの声が聞こえるのはとても幸せだと感じている。今回の認定こども園の近くの方も、そのように感じてもらえるようになってほしい。